

編集復刻版

仏教植民地布教史 資料集成〈台湾編〉全6巻

【編集復刻版概要】

●巻数 全6巻

●体裁 B5判・A5判・上製・総約2、850頁

●編・解題 中西直樹(龍谷大学文学部教授)

※解題は1巻の巻頭に収録

●刊行 第1回配本 2015年12月

●【第1巻〜第3巻】●本体揃価格 75,000円+税

ISBN978-4-908147-61-6

第2回配本 2016年6月

●【第4巻〜第6巻】●本体揃価格 75,000円+税

ISBN978-4-908147-65-4

●揃価格 全6巻 150,000円+税

●推薦 坂口満宏(京都女子大学教授)

柴田幹夫(新潟大学国際センター)

●全巻構成(収録内容は裏面をご参照ください)

第1巻 台湾総督府刊行資料 B5判約480頁

第2巻 台湾布教の概要 A5判約600頁

第3巻 曹洞宗・臨済宗の動向 A5判約520頁

第4巻 浄土真宗本願寺派の動向(1) A5判約350頁

第5巻 浄土真宗本願寺派の動向(2) A5判約460頁

第6巻 真宗大谷派・浄土宗・真言宗の動向 A5判約440頁

本資料の
対象領域

◎近代宗教史研究 ◎アジア移民史研究

◎近代台湾史研究 ◎植民地社会事業史研究

◎近代植民地研究 ◎「仏教と戦争責任」研究

仏教植民地布教史 資料集成

台湾編

全6巻

編集復刻版

近代以降、日本仏教各派は、衰微したアジア仏教の復興を目指し、現地に開教使(師)を派遣した。開教使(師)たちも、仏教復興によってアジアの振興に貢献するという使命感に燃えて、布教活動に従事したに違いない。

しかし、彼らの実際の活動は、現地を日本の従属化におく植民地政策の一端を担うものであり、現地の宣撫工作のため、日本政府や軍部に利用・動員され、彼らも率先してこれに協力してきたのである。こうして、日本の敗戦後、その布教活動は途絶し、実態の検証や布教の再開もされぬまま、関係資料は散佚しつつある。本書は、台湾における日本仏教の布教の記録を集めたものであり、引き続き、中国、北方・南洋の資料の復刻を予定している。

中西直樹編・解題
仏教植民地布教史
資料集成〈朝鮮編〉全7巻
体裁 A5判・上製・総3、880頁
揃定価 175,000円+税 全2回配本
2013年6月〜12月刊【編集復刻版】

海外宣教会和文・英仏文機関誌「明治21年〜26年」
海外佛敎事情・
THE BIJOU OF ASIA 全3巻
監修 中西直樹・吉永進一
体裁 B5判・上製・総1、078頁
揃定価 90,000円+税 全2回配本
2014年12月〜2015年6月刊【復刻版】

浅野研真個人誌「1933年〜1939年」
佛陀 全1巻
解説 菊池正治
体裁 A4判・上製・2面付け・総525頁
定価 25,000円+税
2013年6月刊【復刻版】

龍谷叢書31 中西直樹著
植民地朝鮮と日本仏教
体裁 A5判・上製・312頁
定価 4,800円+税
2013年10月刊

龍谷叢書35 中西直樹・吉永進一著
仏教国際ネットワークの
源流 海外宣教会(1888年〜1893年)の光と影
体裁 A5判・上製・232頁
定価 3,000円+税
2015年6月刊

体裁 B5判・A5判・上製・総約2、850頁
編・解題 中西直樹(龍谷大学文学部教授)

第1回配本 2015年12月

【第1巻〜第3巻】本体揃価格 75,000円+税

第2回配本 2016年6月

【第4巻〜第6巻】本体揃価格 75,000円+税

推薦 坂口満宏・柴田幹夫

三人社

●表示はすべて税別

三人社

〒606-8316

京都市左京区吉田二本松町4 白亜荘

電話 075-762-0368

FAX 075-762-0369

※図書館様・書店様へ

小社は少数出版のため取次口座はございません。ご注文は直接上記までお申し込みください。

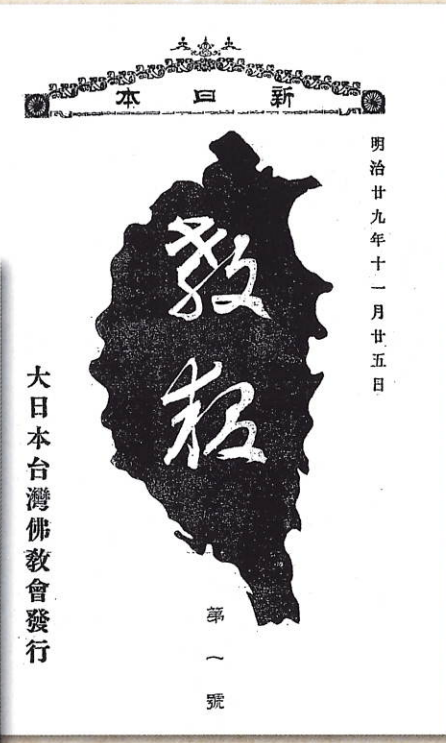
全巻構成と収録内容

巻数	資料名	著者・発行者または作成者	発行年
第1巻 台湾総督府刊行資料			
『仏教植民地布教史資料集成〈台湾編〉』解題		中西直樹	
資料 01	『台湾総督府統計書』第二～第四六(抄録)	台湾総督府	1900年～1942年
資料 02	『台湾統治綜覧』(抄録)	台湾総督府官房文書課	1908年
資料 03	『台湾事情』大正六年九月第二版(抄録)	台湾総督府	1917年
資料 04	『台湾事情』昭和八年版(抄録)	台湾総督府	1933年
資料 05	『台湾事情』昭和十八年版(抄録)	台湾総督府	1942年
資料 06	『現行台湾社寺法令類纂』(抄録)	台湾総督府文教局編、帝国地方行政学会	1936年
第2巻 台湾布教の概要			
資料 07	『台北庁誌』(抄録)	台北庁	1919年
資料 08	『台北州下に於ける社寺教会要覧』(抄録)	台湾社寺宗教刊行会	1933年
資料 09	『教報』第1号	大日本台湾仏教会	1896年11月
資料 10	『理蕃策原議』	大津麟平述	1914年
資料 11	『南瀛仏教』15巻2号(抄録)	南瀛仏教会	1937年2月
資料 12	『敬慎』(11巻1号、12巻1～4号、6号抄録)	台湾神職会	1938年
資料 13	『寺廟神の昇天—台湾寺廟整理覚書—』	宮崎直勝著、東都書籍	1942年
資料 14	『台湾仏教会錬成規定』	台湾総督府文教局社会課台湾仏教会	1944年6月創立
第3巻 曹洞宗・臨済宗の動向			
資料 15	曹洞宗『宗報』1、7、8号	曹洞宗宗務局文書課	1896年・1897年
資料 16	『従軍実歴夢遊談』	佐々木珍龍著、鴻盟社	1900年
資料 17	「台湾仏教中興林に就て」『達磨禅』10号	螺蛤生	1917年10月
資料 18	『台湾巡錫録』	乙部吞海著、世の為社	1930年
資料 19	『鎮南記念帖』	黄葉秋造編、鎮南山臨済護国禪寺	1913年
資料 20	『正法輪』(各号抄録)	正法輪発行所	1897年～1940年
資料 21	「台湾印象記」(一)～(四)『臨済時報』923・925・926・928号	金仙宗諄、臨済宗宗務庁	1941年・1942年
資料 22	「台湾に於ける各宗布教の真相」『禅宗』63・64号	新高山人、貝葉書院	1901年
第4巻 浄土真宗本願寺派の動向(1)			
資料 23	『教海一瀾』(1・2・7・12・14・17・18・21・467・469号抄録)	教海雜誌社	1897年～1910年
資料 24	『對榻閑話』(抄録)	小野島元雄編・発行	1929年
資料 25-1	『真宗本派本願寺台湾開教史』	台湾開教教務所臨時編集部編	1935年
第5巻 浄土真宗本願寺派の動向(2)			
資料 25-2	『真宗本派本願寺台湾開教史』	台湾開教教務所臨時編集部編	1935年
第6巻 真宗大谷派・浄土宗・真言宗の動向			
資料 26	『台湾布教』	小栗栖香頂著、信道説教場	1895年
資料 27	真宗大谷派『宗報』(1・4・6・14・24・27・29号抄録)	真宗大谷派本願寺寺務所文書科	1898～1900年
資料 28	「本願寺厦門教堂毀焼の因由」『明教新誌』	本多文雄	1900年
資料 29	『清国事変に就きて世界宗教者に告ぐる書並に評論』	蕪城賢順編、大日本仏教徒同盟本部	1901年
資料 30	『日本仏教徒に与ふるの書』	八濱徳三郎編、警醒社	1901年
資料 31	『台湾と南方支那』(抄録)	田中善立著、新修養社	1933年
資料 32	『ひかり』(16・26・28・30・31・43・44号抄録)	台北大谷青年会	1934年～1936年
資料 33	『光』(83・89・90・100・113号抄録)	真宗大谷派台北別院	1940年～1944年
資料 34	『浄土宗開教要覧』(抄録)	柴田玄鳳著、浄土宗務所教学部	1929年
資料 35	「台湾開教始末」『傳燈』191～199号	小山祐全、真言宗傳燈会	1899年
資料 36	『開教十年』	生方龍晃著、大師寺	1929年
資料 37	『古義真言宗台湾開教計画案』	藤生祐俊編、古義真言宗開教々務所	1941年

台湾における布教活動の資料37点を収録。

内容見本

教派	布教師	信徒			計	
		内地人	本島人	外國人		
神道	天理教	28	4302	6046	11038	
	理光教	18	3848	131	3974	
	先行教	2	361	11	362	
	行儀教	1	425	2	427	
	計	44	9011	6790	15801	
	佛敎	真宗本願寺派	11	10994	2922	13856
		真宗大谷派	1	2758	57	2815
		臨済宗	6	1030	297	1328
		曹洞宗	10	4858	12830	17688
		日蓮宗	3	2848	30	2878
淨土宗		16	6477	2628	9105	
真言宗		3	3707	30	3737	
天台宗		3	1697	20	1717	
水門法華宗		4	519	3	522	
顯本法華宗		1	271	17	288	
計	61	34999	18828	53828		
基督教	天主教	42	103	4742	4845	
	長老教	168	1	28759	28760	
	日本基督教	6	1053	12	1065	
	日本聖公會	4	504	4	509	
	日本聯合基督教	1	271	8	279	
	正教會	1	125	1	126	
計	222	2057	33526	35605		
總計	327	46067	59144	105265		



真宗本派 臺灣開教史

目次

序文 執行長前田輝水 開教局長原玄雄 本書の編纂に就て 臺灣開教教務所臨時編集部

第一篇 臺北別院時代

第一章 臺灣開教の端緒(最初六年間)

一 臺灣戰時從軍布教使
從軍布教使の選定及任務——臺灣に上陸せる最初の布教使

二 臺灣開教の創始
開教使の派遣——開教使視察と監督職制——臺北に於ける開教使——以上の概説

三 開教使の派遣——開教使視察と監督職制——臺北に於ける開教使——以上の概説
征軍軍團開教使視察使——布教所開設の準備——官有建物至道客僧人の願末——當時の脚本——臺北布教所の創始——創設當時の本島人信徒——布教の發展並に法務の整理——臺灣北部開教の基礎確立——附 名冊

四 假本堂の創設
新築の準備——宿附金の募集——新築工事の準備と開教——工事の着手と進捗——新築の竣工と開教——附 名冊

附 至道宮の建物とその關係

目次

目次 (寄稿)

開教十年を祝す……………二瓶源五
感謝と祝賀……………古賀文也
祝歌三首……………月門桂堂

開教十年史……………生方龍晃

一、奇しき運命……………生方龍晃
二、開教の企圖……………生方龍晃
三、奉仕と初印象……………生方龍晃
四、開教の序曲……………生方龍晃
五、開教の基礎時代……………生方龍晃
六、開教の守成時代……………生方龍晃
七、開教の延長……………生方龍晃
八、開教の延長……………生方龍晃
九、開教の延長……………生方龍晃
十、開教の延長……………生方龍晃
十一、開教に兩果を追ふ……………生方龍晃
十二、開教に兩果を追ふ……………生方龍晃
十三、一更を許さず……………生方龍晃

◎臺灣布教所開設の経緯……………生方龍晃
◎因縁……………生方龍晃
一、略しい回想……………生方龍晃
二、聖祖の光……………生方龍晃
三、意外の小包……………生方龍晃
四、未知の手紙……………生方龍晃
五、死生生歸……………生方龍晃
六、其の後のK氏……………生方龍晃
七、生歸後の訪問……………生方龍晃
八、K氏の計……………生方龍晃
◎高坂嶺事情と彼の行動……………生方龍晃